

問(一) 次の各文の空欄A～Jに該当する語を後の1～10の中から選び、番号をマークせよ。(同じものは二度使わないこと。)

思う存分の生き方をしたい、古くさい非 **A** 的な魂なんかいらぬ。行動や生活が意味を持つ道徳的な **B** になろうとする努力は、その他の自然とちがった物理法則に従う心なんて代物にはまるっきり **C** していない。科学から得られる自己 **D** は、人間の道徳的な生活に新しいもつと優れた **E** を与えてくれるし、自由が何によって **F** しているかを理解すれば、しばしば見過ごされている自由への重要な脅威に対する防御もずつと上手にできるようになる。  
(ダニエル・C・デネット『自由は進化する』『翻訳』山形浩生やまがたひろおによる)

『タイム・マシン』においてウエルズは、〔略〕彼のダーウィニズムとマルクス主義の知識をユートピア的 **G** にまとめあげている。そこに彼の **H** 性があるわけではない。実際、その極度にオプティミスティックな理解のされ方において、ダーウィニズムは進化による人間の完成可能性を **I** するものにとらえられていたし、他方、マルクス主義はプロレタリアート革命による共産主義的ユートピア社会の実現可能性を約束するものと見なされていた。その意味において両者はともに、一九世紀後半以降にふたたび盛り上がりつつあったユートピア思想にとって **J** 的に重要な役割を果たしていたのである。  
(たんじあい丹治愛『神を殺した男』による)

1	決定	2	存在	3	示唆	4	依存	5	基盤
6	主題	7	理解	8	独創	9	物質	10	成立

問(二) 次の四字熟語を完成させるために、空欄に当てはまる語をそれぞれ後の語群から選び、番号をマークせよ。(同じものは二度使わないこと。)

a	変幻	b	冬扇	c	千載	d	首尾	e	転変
f	躍如	g	自暴	h	和魂	i	玉条	j	一知

1	一貫	2	自在	3	自棄	4	一短	5	不和	6	一卷	7	夏炉	8	一転
9	一遇	10	面目	11	半解	12	有為	13	月下	14	周到	15	洋才	16	一隅
17	篤実	18	自材	19	洋裁	20	金科	21	半壊	22	自希				